

## プロバイダー・レンタルサーバー事業者への要望事項

朗読のネット配信の活性化を通じた文藝文化振興のために、音声ブログやレンタルサーバーについて、以下のご検討をお願いします。

操作の一層の容易化、説明用語の簡易化

容量の増大

仲間内や特定少数向けの配信を念頭においたアクセス制限機能の付加

### < 説明 >

この 1 年ほど、朗読を含む音声を中心に発信できる音声ブログサービスが出現し、朗読を人々に聴いてもらいたいと考えていた人々にとっては、大変歓迎すべきことでした。しかも、無料となっていることもあり、朗読ブログの数は大きく増えてきています。また、音声ファイルである MP3 ファイルをアップできる無料レンタルサーバーも増えてきています。

これらが、声に出して読む、耳から聴く読書である朗読の愛好者にとって、どれだけありがたいことだったでしょう。今後、朗読のインターネット配信を通じた文藝活性化の面で多大な役割を果たし、その伝達手段として大きな比重を占めることになるでしょう。

そのような点は十分理解の上で、朗読のネット配信の活性化のために、いくつかのお願いをさせていただきたいと思えます。ポイントは次の点です。

操作の一層の容易化、説明用語の簡易化

容量の増大

仲間内や特定少数向けの配信を念頭においたアクセス制限機能の付加

### 第一：操作の容易化、説明用語の簡易化

朗読愛好家は、老若男女、世代を問わず存在しています。若い世代の人々は、インターネットに日頃から親しんでいますから、容易に音声ブログやホームページ作成もできることでしょう。しかし、中高年齢層はさすがに、そのような操作には苦手意識があり、なかなか取り組めずにいる方々も少なくないと思われまます。

Voice-Bank、SeeSaa、Yahoo! ジオシティーズなどの音声ブログは、多くの方が使っていますが、最初はやはり皆、四苦八苦、悪戦苦闘しながらも、「何と

か自分の朗読を発信したい！」という切実な願いを支えにして、やっとのことで、ブログを作ることができたという状況かと想像します。

客観的にみて、ひと昔前にホームページを作ると考えれば、上記の音声ブログサービスの操作は、飛躍的に簡易なものになっていると認識はしていません。電話で声をアップできるサービスなどは事業者側のサービス向上意欲の賜物だと思います。ただ、ブログ開設から運営にいたるまでの説明自体が、横文字、特殊用語が多く、良質の朗読発信者であるシニア世代などにとってはもちろん、一般人にとっても、何を意味しているのかすぐには解しかねる文章が多々みられます。特殊用語には、日本語でわかりやすい解説をつけていただきたいところです。たとえば、「リッチテキストエディター：ワープロソフトと同じように、字の大きさや色、その他の編集ができます」、あるいは、「ページ認証：仲間内だけで楽しみたいときに、認証画面によって仲間以外からのアクセスを制限できます」といったように、ヘルプにすべてゆだねるのではなく、設定画面で丁寧に注釈をつけていただくだけで、抵抗感は相当程度緩和されると思います。レンタルサーバーなどでは、無料であれば仕方ないのかもしれませんが、もろもろの専門用語や操作を知っていて当たり前という前提でサービスが提供されていますので、ハードルはより高くなります。「.htaccess」と当然のように注釈なしで書かれていても、一般人にはなんのことかまったくわかりません。

第二は、容量の増大です。無料でサービスを提供し、コストは広告料から回収するというビジネスモデルですから、ある程度は仕方ないのかもしれませんが、しかし、文学作品や小説を多数朗読し、ライブラリー化しようとする、さすがに、音声ブログで一般的な100M程度では追いつかないところです(もちろん、音質をどのくらいに設定するかによっても大きく違ってきますが、それでもそこそこの音質で配信しようとする、と不足します)。アクセスが多いブログであれば、無料で増量していただくことも可能かもしれませんが、朗読というのは比較的地味なジャンルで、相対的にみれば、人気ブログのように多くのアクセスは期待しにくいところです。

しかし、朗読文化を活性化し、文藝文化の裾野を広げていく上で、朗読愛好者の皆さんが優れた朗読ライブラリーを作っていく、それを皆がいつでも楽しめる、という環境を作ることが重要になっています。そのためには、十分な容量の確保は必須です。有料サービスの選択肢も作っていただき、容量の増量が必要であればできるようなサービス環境の提供をお願いいたします。

また、無料レンタルサーバー事業者の方に、その性格上多くを期待するのはできないのかもしれませんが、有料でのサービス提供事業者の中には、わかりやすく、容量もギガレベルでの容量を低廉な料金で提供しているところもあり

ます。そのような有料レンタルサーバー事業者と音声ブログサービスとがドッキングしたようなサービスが提供されれば、きっと朗読愛好家の人々は利用するものと思います。

第三は、音声ブログサービスにおけるアクセス制限機能の付加です。これは、著作権法でも認められている、仲間内や特定少数向けの配信を念頭においた要望です。著作権法の上では、公衆向け一般に誰でも聴けるような配信は認められませんが（公衆送信権の侵害）、公衆向けではない特定少数向け、あるいはサークルなどの仲間内向けに対するネット配信は、認められる行為です。著作権切れの作品だけでなく、著作権がある現代作家の作品の朗読を少数の仲間だけで楽しむというのは、特に問題とされるようなことではありません。

しかし、そういうことを音声ブログやホームページで行おうとすると、認められる者についてのアクセス認証（他人からのアクセスの制限）の機能が必須となります。

現在、音声ブログや無料レンタルサーバーのサービスは、広告料でコストを回収するというビジネスモデルであるため、一部の少数の者しかアクセスできないようなサイトを作られたのでは、広告効果が期待できないため原則禁止とせざるを得ないという事情はわかります。同様の考え方から、どのページにもリンクがなく他から容易にアクセスできないようなページを置く（＝貸しスペースを倉庫的に使う）というような使い方も厳禁しているのが一般的です。

しかし、中には、SeeSaa という音声ブログ事業者のように、「ページ認証」という形で、一組の ID とパスワードにより、アクセス認証（制限）のサービスを提供しているところもあります。Voice-Bank も将来的にそのようなサービスも検討中とされています。

仲間内や特定少数向けの朗読のネット配信が、著作権法認められるとしても、そのアクセス管理は、相当慎重なものにする必要があります。そういう意味で、やはり、アクセスが認められる者に対して、それぞれ一組の ID とパスワードを発行することが望ましいところです。有料レンタルサーバー事業者の中には、そのようなサービスが簡易な形でなされている例もあります。

つきましては、音声ブログ事業者におかれましては、広告効果に影響を与えないような表示の仕方を工夫していただき、アクセス認証（制限）機能の提供を一般サービスとして行っていただけないでしょうか。そして、アクセス者ごとの ID とパスワードによる認証ができるような仕組みの提供を、場合によっては有料でも結構ですので、お願いいたします。

上記の第二に述べた容量増大とともに、有料であっても利用したいとのニーズは潜在的に大きいと思われます。海賊版の流通に悪用される懸念は想像でき

ないわけではありませんが、朗読の場合はもちろん合法的なものです。

最近、オーディオブックがさかんになってきていることからわかるように、朗読愛好家の層は年々広がっていくものと想像されます。一般の個人放送局のように、以前の「放送」分はカットしていくというパターンとは異なり、「朗読ライブラリー」として逐次、ファイルを蓄積させていくというパターンだものですから、上記のニーズに合ったサービスの提供が待たれるところです。どうか、ご検討方よろしくお願いたします。